SYGN HOUSE 2026.07

ヘルメット取付資料

B+COM 7X EVO | 7X

＜取付方法は 7X EVO / 7X 共通です。本資料の写真は全て 7X EVO を使用しています。＞

SHOEI　GT-Air II

取付前の準備

1.　取付準備

SHOEI ヘルメット「GT-Air II」の B+COM 取付方法を
ご紹介します。

2.　B+COM の準備

B+COM1 キット分を用意します。

3.　パッド取外し

ヘルメットの左側チークパッドとイヤーパッドを取外します。

※内装の脱着に関しては、ヘルメットの取扱説明書をご参照ください。
※内装は Z-8 のものですが同様です。

スピーカーの取付

※画像は Z-8 のものですが同様の方法で進めてください。

4.　面ファスナーの貼付け

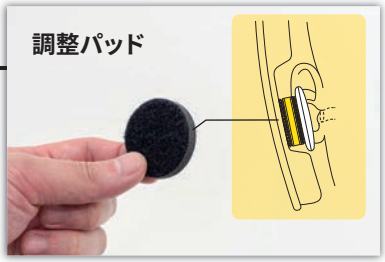
ヘルメット内の左右にあるイヤースペースへ、
「スピーカー固定用面ファスナー」をそれぞれ貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。

5.　調整パッドの活用

耳とスピーカーの隙間を調整することで、本来の音量、音質が
得られます。

※調整パッドをご使用してください。
　耳が押されて痛い場合は外してください。



6.　右側スピーカー取付け

スピーカーを取付けます。イヤースペースにそのまま
合わせるのではなく、**できる限りヘルメット前方、**
チンストラップの根元側へ寄せるのがコツです。

7.　スピーカー配線 1

ヘルメット後方右側のホックを外し、配線をホックの
内側に通します。

8.　スピーカー配線 2

ヘルメット後方左側のホックを外し、配線をホックの
内側に通します。

9.　左側スピーカー取付け

スピーカーの左耳側を取付けます。

ワイヤーマイクの取付け

※画像は Z-8 のものですが同様の方法で進めてください。

10. マイクスポンジ取付け

ヘルメットのチンガードの裏側、風の影響を受けやすい
エアインテークを避けた上よりの位置にワイヤーマイク
スポンジを貼付けます。

※貼付ける前に、パーツクリーナーなどで貼付箇所を脱脂してください。

11. ワイヤーマイク取付け

チークパッド内側のスナップを避けて配線しながら、
ワイヤーマイクを取付けます。

※穴の空いている方が、集音する方向です。口元に向けてご使用ください。

マグネットクレードルの面ファスナー貼付け

EX1. マグネットクレードルの用意

マグネットクレードル本体、面ファスナーのフックを用意します。

EX2. 面ファスナー大の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー大を貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所をアルコールやパーツクリーナーなどで脱脂します。

EX3. 面ファスナー小の貼付け

貼付部の角に合わせながら、面ファスナー小を貼付けます。

EX4. 完成

完成です。

SHOEI アタッチメント 2 の取付け

EX. SHOEI アタッチメント 2 を使用します

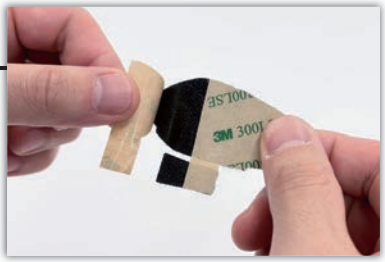
SHOEI アタッチメント 2 の詳しい取付方法は同梱のマニュアルをご確認ください。

https://sygnhouse.jp/pdf/bcom_shoei_attachment2_manual.pdf

SHOEI アタッチメント 2　品番：00083277　価格：3,300 円（税込）

12. 面ファスナーループの貼付け 1

面ファスナーのループは剥離紙が縦半分に別れます。
半分剥がして SHOEI アタッチメント 2 に貼付けると、
大・小を正確に貼ることができます。



13. 面ファスナーループの貼付け 2

アタッチメント 2 に面ファスナーを貼付けます。

※貼付ける前に、貼付箇所を付属のアルコールシートを使用して
脱脂します。

14. 両面テープの貼付け

付属の両面テープを SHOEI アタッチメント 2 に貼付けます。

15. SHOEI アタッチメント 2 の取付け

SHOEI アタッチメント 2 をヘルメットに貼付けます。

※接着初期は接着力が弱いため、貼付け後約 24 時間保管し
ご使用ください。

16. マグネットクレードルの取付け

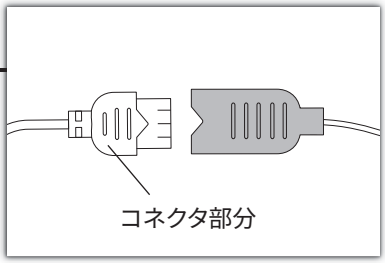
SHOEI アタッチメント 2 にマグネットクレードルを貼付けます。

配線方法

17. スピーカー、マイクコネクタの接続

コネクタの端子の凹凸の向きに注意して、
それぞれのクネクタを接続します。

※コネクタを接続する際はケーブルを引っ張らず、コネクタ部分を
持って抜き差しを行ってください。



18. チークパッド取付け 1

各配線に無理な負担がかかったり、噛み込んだりしないよう
注意し、チークパッドを差込みます。

19. チークパッド取付け 2

ケーブルをホックで挟み込んだり、折れたりしないよう注意し、
ホックをとめます。

本体の取付け

20. 本体ユニットの取付け

本体を取付けて完成です。

※取付け後は本体とクレードルの間に隙間やがたつきがないことを
確認して下さい。